

備前市事務事業評価シート

(平成20年度事業)

事業の概要			
事業開始年度 昭和56年～			
総合計画	大項目	基本目標	03 地域文化と人が輝くまちづくり
	中項目	基本施策	02 生きがいのあるまちづくり
	小項目	施策	04 公民館
事務事業名			03 中央公民館運営事業
根拠法令・規程等		社会教育法第20条	
問担当課(室)		中央公民館	
職・氏名		館長補佐・山口晋作	
電 話		64-1133	

事業の実施	
対 象 (誰・何に対して)	市内在住者
目 的 (何のために)	市民の教育、学術及び文化の向上に資する各種の事業を行うことで、教育の向上・健康の保持増進、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与すること
行 政 活 動 (どのような方法で)	文化事業の開催及び各種団体との連絡調整を行う。市民の集会やその他公共的な催しに利用してもらう。公民館運営審議会の開催。
事業の意図する成果 (どのような状態にしたいのか)	定期講座や文化祭の開催により、多くの市民に参加してもらい、教養の向上・生活文化の振興や交流を図る。

事業の実績					
活 動	実施項目	単位	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績
	定期講座参加者数	人	180	216	119
	公民館運営審議会開催回数	回	3	3	2
	文化祭出展者数	人	198	211	211
実 績	事業費	千円	1,048	1,327	1,095
	必要人員	人	1.00人	1.00人	0.88人
	事業費	千円	7,668	6,839	5,897
	国 県 支 出 金	千円			
	受 益 者 負 担 金	千円	109	158	126
	市 債	千円			
	そ の 他 ()	千円			
一 般 財 源	千円	7,559	6,681	5,771	
受 益 者 負 担 比 率	%	1.4%	2.3%	2.1%	

結果指標①					
結果指標名	単位	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績	
定期講座参加者数	人	180	216	119	
対 前 年 比	%		120.0%	55.1%	
活 動 コ ス ト	円	260,000	182,474	152,071	
単 位 当 たり コ ス ト	円	1,444	845	1,278	
結果指標②					
結果指標名	単位	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績	
文化祭出展者数	人	198	211	211	
対 前 年 比	%		106.6%	100.0%	
活 動 コ ス ト	円	278,444	208,405	137,681	
単 位 当 たり コ ス ト	円	1,406	988	653	

事業の成果					
成果指標名	年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	到達目標値
	目標値(A)	200	200	200	200
	実績値(B)	180	216	119	到達目標年度
定期講座参加者数	達成率(B/A)	90.0%	108.0%	59.5%	平成21年度
成果指標設定の考え方・式や説明					
中央公民館での主催講座における参加者数					

事業の目的、対象、内容を考えながら目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価			
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 類似した事業がある	妥当性評価<A~E> 判定理由・課題認識 日生・吉永の地域公民館と13地区の地区公民館の総括を行っている。市民を対象とした文化振興に関する事業を行って、公平な公民館活動できるように検討を続けていく。
	市民ニーズ	<input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い <input type="checkbox"/> 説明	
	効率性の評価	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価<A~E> 判定理由・課題認識 2講座(備前焼・ガラス細工)については、市民の強い要望もあり、継続して行った。3地域の隔たりがだんだんとなくなってきた。漢文講座については、公民館グループとして今年度より、活動を開始したことにより、自立を促がせた。昨年、日生で行ったコンサートを中央(市民センター)で行った。
有効性の評価	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない	有効性評価<A~E> 判定理由・課題認識 講座参加者のマンネリ化をふせぐためと、新たな参加者の獲得のために、毎年講座の検討を行う。また、文化祭出展者を増やすために、PR方法を考える。
	市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映させる仕組みがある <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプランづくりから市民参加を得る手段をとっている	

平成21年度の状況						
目標値	結果指標量①	200	結果指標量②	250	成果指標量	200
状況	拡充	○	現状継続		見直し	
	縮小		整理統合		休止	
説明	休止		廃止・完了			
	講座の新たな参加者の獲得のために、県の電子申請システムなどを活用して、講座参加者のマンネリ化をふせぐ。					

総合評価	
日生地域公民館が主管する文化事業観賞会を、20年度は市民センターに場所を移して開催し好評を博した。今後も社会のニーズを把握し多数の市民が参加できる催しを企画していく。	評価区分<A~E> 妥当性 有効性 効率性 C

平成22年度以降の方向性・内容						
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
説明	○					
	講座も地域の特色を活かしながら、3地域の他の館でも開催できるように、検討する。中央公民館と日生地域公民館は冷暖房費を文化協会及び認定団体から徴収していないが、吉永地域公民館は徴収している。よって地域間の不公平を解消するため中央と日生も徴収を行う。					
改善がある場合						
評価の視点	改善内容		改善時期	改善により期待される効果		
効率性	3館公民館の事業の調整		平成22年度	市民が平等な公民館事業に参画する。		